

令和6年第2回 福津市議会定例会一般質問（令和6年3月）

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
1	中村 清隆	1 財源確保について	<p>本市の人口は増加しているが、人口増に伴う需要もあり財政的には決して安泰ではないと感じている。また、公共施設の更新や学校建設など、今後大規模な予算が生じる事業があると予測され、現状でも様々な事業に対して、予算がつきにくい状況である。そこで財源確保等の取り組みに関し、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 財源確保の現状と課題 ② 企業誘致の取り組み ③ ふるさと納税の現状と課題 ④ ふるさと納税の今後の見通し ⑤ 今後の財源確保の見通し 	
		2 本市の予算・決算について	<p>令和3年9月定例会において、令和2年度一般会計決算が不認定となった。決算を終えて次年度の予算に生かすものもあるが、不認定となったこの決算も含め、予算・決算と議会の議決に関し、以下の点について伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 決算の認定に対する議会の議決の重さについて ② 令和2年度一般会計決算の不認定について ③ 平成29年に改正された決算の不認定に関する地方自治法第233条第7項の規定とその対応について ④ 決算認定に関する議会の審議や議決結果を受けての予算編成について ⑤ 令和2年度一般会計決算の議会の不認定とその後の市長の対応に関し、監査委員としての見解を伺う。 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
2	秦 浩	1 高齢者への予防接種の補助制度について	<p>① 高齢者の肺炎球菌予防接種については、高齢者の肺炎球菌による肺炎の発症や重症化・まん延を予防するため、一部公費負担を実施している。本市の公費負担や接種率について伺う。</p> <p>② インフルエンザの予防接種における、高齢者への公費負担や接種率について伺う。</p> <p>③ 新型コロナワクチンの特例臨時接種が令和6年3月31日をもって終了するが、終了後の予防接種について伺う。</p>	
		2 新設校を含む学校施設に関する事業費について	<p>過大規模校や大規模校を緩和するため、新設校建設計画が進んでいる。そこで以下の点について伺う。</p> <p>① 竹尾緑地に建設予定であった新設校の計画に関する事業費について</p> <p>② 竹尾緑地の新設校の計画が白紙撤回となったため、新設校の開校は令和6年4月から令和9年4月となった。この新設校開校が遅れたことによる各小・中学校の施設増設に関する事業費について伺う。</p> <p>③ 宮司地区に建設予定の新設校に関する関連事業も含んだ総予算について</p> <p>④ 宮司・四角地区の小・中学校2校新設を提案し調査等を行ったが、当初提案の1校から2校の建設を可能と判断した財政的根拠について</p> <p>⑤ 財政的事情により取りやめとなった四角地区の中学校新設事業に投じた経費について</p> <p>⑥ 竹尾緑地の新設校計画から現在に至るまでの過大規模校対策全般について、監査委員の見解を伺う。</p> <p>⑦ 現在、本市の教育現場は、教職員への負担が非常に大きくなってきていると感じられる。教職員や児童・生徒のことを考えると、ハード面での予算だけではなく、ソフト面に対しても十分な予算措置が必要であるが、本市の対応を伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
3	中村 恵輔	1 生徒の持続可能で多様なスポーツ・文化活動環境を確保する取り組みと指針について	部活動をはじめ課外活動は子どもの心身の成長を支える教育の一環として大きな役割を果たしてきた。しかし、本市中学校の部活動の中には、部員数が多く、十分な練習場所を確保できず、生徒の活躍の機会が逸失されている部活動があるとの声もある。また、全国的にも部活動指導が教員に過度な負担となっているのは周知の事実である。以上の課題を踏まえ、本市の激変する教育環境の中で、生徒の持続可能で多様なスポーツ・文化活動環境を確保する取り組みと今後の指針について伺う。	
		2 地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の現状について	コミュニティ・スクールを推進する本市において、地域の協力は不可欠である。その中でも、多様な学びの場を提供する地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)の役割は大きい。一方で、活動はすればするほど、業務負荷も大きいものとなる。地域コーディネーターの位置付けと、活動の現状について伺う。	
		3 教育長の選任について	市の教育行政の旗振り役である教育長は、1年間不在となっている。本市は、様々な教育課題を抱えており、一刻も早い選任が必要であるが、現在の状況について伺う。	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
4	大山 隆之	1 障がいを持つ市民に関する就労継続支援について	<p>本市における就労継続支援などの現在の状況について、以下の点を問う。</p> <p>① 障害者手帳を持つ市民の人数と就労支援が必要とされている市民の人数</p> <p>② 現在の就労支援施設の数(就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型)</p> <p>③ 上記施設等への本市からの業務委託の件数</p> <p>④ 本就労支援事業者と本市の課題と考えているものは何か。</p>	
		2 役所内システム等のDXの進捗状況について	<p>日本全国において、企業や公共機関はDXを推進している。本市の進捗状況と課題について問う。</p> <p>① 過去2年間における役所内システムのDX実績は。</p> <p>② 請求等の対外システムでシステムの変更などの取り組みを行っているのか。</p> <p>③ DXを推進している部署からの提案や実証実験等はどのように行っているのか。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
5	井手口 忠信	1 AEDについて	<p>本市は、市内46施設に50台のAEDを配備している。その管理体制と運用について、以下の点を伺う。</p> <p>① 各施設での管理体制について ② AEDの設置場所について ③ 使用時のプライバシー保護の対策は</p>	
		2 AIペアレンタルコントロールアプリについて	<p>令和4年通信利用動向調査の結果が、昨年総務省より発表された。それによると、スマートフォンの世帯保有率は9割を超え、個人保有率も77.3%と増加している。保有率の増加は子どもも例外ではない。スマートフォンを利用した犯罪から、子どもを守る対策がますます重要となってくる。そこで以下の点について伺う。</p> <p>① インターネットに係る被害から、子どもを守るための取り組みは。 ② 子どもを被害者にも加害者にもさせない、AIペアレンタルコントロールアプリ「コドママ」の周知、啓発を行ってはどうか。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
6	中村 晶代	1 ワクチン接種について	<p>以下のワクチン接種の助成等を含めた現状と今後の取り組みについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 新型コロナワクチン接種、および新型コロナワクチン接種対策室について ② インフルエンザワクチン接種について ③ 成人の風疹ワクチン接種について ④ 帯状疱疹ワクチン接種について ⑤ 肺炎球菌ワクチン接種について ⑥ HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンのキャッチアップ接種について 	
		2 こども家庭センターについて	<p>市では令和6年度より、全ての妊産婦や子育て世帯、0歳から18歳のこどもを対象に、「児童福祉」と「母子保健」の各部門が情報共有し、妊娠期から子育て期まで一体的な相談支援を行う「こども家庭センター」を設置することになっているが、どのような体制になるのか詳細について伺う。</p>	
		3 市営住宅の現状および今後について	<p>市民より、市営住宅に入りたいがなかなか入れないとの声が寄せられている。また、一部では老朽化も指摘されて久しい。市内の各々の市営住宅の入居状況等の現状と、今後の対策を伺う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
7	佐伯 美保	1 教育環境整備に向けた「小中学校の適正規模・適正配置計画」及び福間南小学校の過大規模校解消策について	<p>SDGs 未来都市福津市として、誰一人取り残さない適正で公平な教育環境の整備は喫緊の課題である。</p> <p>① これまでの一般質問で令和5年度末までに作成すると答弁した「小中学校の適正規模・適正配置計画」策定の進捗を問う。</p> <p>② 公平な教育環境の整備に向け、1,600人を超える福間南小学校を適正な規模にしていくための具体的な過大規模校解消策等を問う。</p>	
		2 新設校と周辺地域の防災対策について	<p>本市は福津市まちづくり計画「まちづくり基本構想」で、テーマ別目標4に「安全・安心・快適に住み続けられるまち」を掲げ、その基本方針1で、災害に強いインフラ整備と地域防災力を強化することを明記している。能登半島地震など自然災害が激甚化している中、本市においても防災対策の強化が求められる。</p> <p>① 文部科学省は令和5年5月に「水害リスクを踏まえた学校施設の水害対策の推進のための手引」を公表した。高潮、ため池、洪水浸水想定区域内に建設予定の新設校だが、子どもたちの安全を担保するための防災対策を問う。</p> <p>② 新設校を挟む手光今川と三辻川両流域の、洪水浸水想定区域への昨今の降雨特性を踏まえた雨水整備、グリーンインフラ等を含めた防災対策を問う。</p>	
		3 竹尾池（下）上流部への土砂投棄（盛土）への防災対策について	<p>「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」）が令和5年5月26日から施行された。そこで、竹尾池（下）上流部への土砂投棄があっているが、盛土崩落などの災害防止に向けた本市の現状認識と対応策を問う。</p>	
		4 第2次福津市環境基本計画について	<p>① 第2次福津市環境基本計画におけるエコロジカルネットワークの現状と課題を問う。</p> <p>② 市民、市民団体、事業者、教育・研究機関、市の共働で福津市の豊かな環境を守り、受け継いでいくためのしくみとしての「ふくつ環境トラスト」の構築状況と課題を問う。</p>	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
8	岩下 豊	1 保育所の給食費完全無償化について	<p>子育て世代の経済的負担を軽減する目的で、令和元年10月より3歳児以上の保育料無償化が国の施策として実施された。ただし、給食費は保護者負担のままである。給食は保育の一環であり、給食費の無償化も必要と考えるが、以下について市の考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本市が認可保育所に委託している業務内容の詳細 ② 認可保育所に支払う委託費の算出方法 ③ なぜ給食費は保護者負担なのか 	
		2 小・中学校の過密解消・緩和策について	<p>本市は過大規模・大規模校の解消に向けた対策として、新設小学校建設を進めており、福間南小・福間中については校区再編等で緩和を検討するとしている。この過密解消・緩和策2点について、現時点の市の考えを伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昨年10月の福間南小と福間中の生徒・保護者を対象にした過大規模校の過密化緩和に向けたアンケートの結果や、今年1月に行った市民との意見交換会で出された意見を踏まえた、教育委員会としての認識及び今後の具体的な対策について。 ② 福津市地域防災計画では、第2節【災害につよいまちづくり】の第1【都市構造の防災化】において、都市整備部は快適で安全な市民生活を確立するため、災害に強い都市空間の形成を図り、と記載されている。これを踏まえた新設小学校建設予定地周辺地域の安全性の評価について。 ③ 新設学校建設についての住民との合意形成を、行政としてどう考えているか。 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
9	石田 まなみ	1 女性支援新法について	<p>「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」いわゆる「女性支援新法」が4月より施行される。このことについて、福津市の取り組みをはじめとして、以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「困難な問題を抱える女性」の対象者はどんな女性を指すのか。 ② 本市ではどのような支援が考えられるか。 ③ 本市での相談体制はどうなっているか。 ④ 過去の事例から学んだことは。 ⑤ 4月からこども家庭部に設置される「こども家庭センター」は児童福祉と母子保健の一体的な相談支援を行うという目的を持っているが、女性支援新法との繋がりとは。 ⑥ 福津市第3期子ども・子育て支援事業計画と、この女性支援新法との連携は。 ⑦ 今定例会において、市営住宅にDV被害を受けている人が一時入居できる条例の改正議案があがっているが、現在の市営住宅の受け入れ態勢は。 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
10	福井 崇郎	1 本市の防災・減災対策について	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難指示周知のための具体的手段・方法および避難指示周知体制の現状と課題は。 ② 地震や洪水等による災害でがれきが発生した際の集積場所と運搬・処理の方針は。 ③ 避難所に関する現在の想定と能登半島地震の被害を踏まえた運営の課題は。 ④ 公共施設や自治公民館の耐震対策及びブロック塀の撤去支援の取り組み状況は。また、木造建築などの建物の耐震化に向けた支援策は。 ⑤ 国民保護計画の本市の位置付けと現在の取り組みは。 ⑥ 昨年11月に実施した全市一斉防災訓練の検証と今後の取り組みは。また、自主防災活動の推進に向けた啓発活動や支援策と消防団や地域防災推進員など各支援団体との連携は。 	
		2 保育の質の向上と保育環境の整備について	<ul style="list-style-type: none"> ① 本市の待機児童の現状と対策は。 ② 本市の保育士不足の現状と具体的な対策は。 ③ 「保育の質」の確保について、本市の現状と今後に向けての取り組みは。 ④ 保育環境の整備に向けた本市の取り組みと課題は。 ⑤ インクルーシブ保育に対する市の見解と取り組みは。 ⑥ 市立保育所の役割と今後の方針は。 ⑦ 保・幼・小連携についての本市の方針と取り組みは。 	

番号	氏名	質問事項	質問要旨	備考
11	山本 祐平	1 情報公開及び市民の声を聴く姿勢について	<p>市政は、住民自治の理念に基づき、市民の信託を受けて行われるものであり、市は市民に対してその諸活動について説明する責務を負っている。情報公開制度は市民の「知る権利」を保障するうえで非常に重要な制度であると考えます。</p> <p>また「市民の声」を聞くことは、市民のニーズに合った行政運営を行う為に重要な要素と考えます。</p> <p>これらを踏まえ以下について伺う。</p> <p>① 令和元年度から令和4年度の情報公開請求の件数の推移について</p> <p>② 本市の情報公開に対する考え方と現状について</p> <p>③ 「市民の声」を聞く手段について</p>	
		2 不登校児童・生徒の現状と対応について	<p>全国の小中学校における不登校の児童・生徒数は、令和4年度に過去最高を更新した。令和5年3月31日に文部科学省より「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」が公表され、不登校対策の速やかな推進が求められている。</p> <p>それを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>① 令和元年度から令和4年度の不登校児童・生徒数の推移について</p> <p>② フリースクール等に通う不登校児童・生徒の出席扱いについて</p> <p>③ 本市の不登校児童・生徒および保護者への支援について</p>	